

農作業を手伝い、
農協で働いた 高瀬あつこそ
食の安全、安心を守ります

米価下落を放置する安倍政権、「国と自民党のいう通りやってきてこの仕打ちか」と怒りの声が渦巻いています。

そのうえ安倍政権は公約違反のTPP交渉参加で農業を壊し、農協も邪魔だどつぶしにかかっています。「農業所得倍増」などと叫んで見せますが、農家の中からは机の上で考えた「農政改革」で、農業の現場のことを一つも知らない、厳しい批判の声が上がっています。

高瀬あつこさんは兼業農家の長女として、苗運びや押し植え(補植)、稲刈りの手伝い、



高岡市でのシンポジウム = 2014.11.30

落穂ひろいなど、家族の農作業を子どものころから手伝っていました。大学卒業後、福野町農協に就職し、くみあいマーケットや組合員課で生活指導員の仕事をしてきました。農家の現実も気持ちもよくわかり、県政へ農家の声を届けるのもっともふさわしい人です。

結婚後は生活協同組合で働き、また生協の地域委員長として食の安全、安心を守る大切さを学びました。

毎日の食べ物は人の命と健康の源です。安全で安心できる食料は「日本の大地から」をつらぬく高瀬あつこさんです。

安倍政権の「農政改革」は机上の空論

くらし まもる

安倍政権の暴走ストップ!!

高瀬あつこ



あなたの手で

政治を変えるチャンス

事実を丹念につかみ、
じっくり考えて行動する
高瀬あつこ

消費税増税問題シンポジウム(2012年4月)で高瀬あつこさんは、ずっとつけていた家計簿をもとに1年間に払った消費税を拾い出しました。4人家族で11万9797円(月約1万円)。

「これでもし10%になったらこれが倍になるわけで、どこを削ろうか、削るところがないけれど食費・教養娯楽費を削るしかない。家族の健康を守っていくためにも消費税アップは困る」と訴え、多くの参加者の注目を集めました。

高瀬さんは事実を丹念につかみ、よく考えて訴えるので、多くの市民の皆さんが信頼していっしょに行動してくれるのではないのでしょうか。だから、信念をつらぬき、公約を裏切ることがないので。



市民の暮らしに寄りそって

日本共産党

プロフィール

1962年(昭37)福野町生まれ 53歳
井波高校、橘女子大卒(現・京都橘大学)
福野町農協、生協コープとやま勤務を経て
現在、党高岡市委員会女性部長
趣味はウォーキング、茶道、美術鑑賞
漆器加飾業の夫と長男の3人暮らし
中川本町11-13 県営住宅2-204

<http://toyama.jcpweb.net/loc-takaoka/page-37>

高瀬あつこの動画も見られるよ



高岡民報

2015年2,3月号外
高岡市内免2-7-13

日本共産党の活動を紹介します。

一人でも悩まず、何でもご相談ください。
ご連絡は.....日本共産党事務所

23-3281

子ども医療費 無料化へ

口説き話を要求に
みんなの力を寄せて

自分の息子さんが小さいころ、よくアトピーやぜんそくになり、「パート代が医者代に消える！」と嘆いていた高瀬あつこさん。

「1歳を過ぎたころからよく風邪をひく」のに、その頃子ども医療費無料だったのはせ口歳だけでした。自身の思いや、周りのお母さんたちの口説き話を聞くにつけ、高岡市でももっと拡充したいと、お母さんたちと話し合い、署名運動に取り組みました。



高瀬さん(左)が署名を高岡市議会議長に = 2011年

水道料金 値下げへ

現実を知って
県、市と繰り返し交渉

「水道料のためにパートしているようだ」井戸端会議でよくこんな口説きが聞かれました。

新日本婦人の会高岡支部の事務局長を引き受けた高瀬あつこさんはみんなで学習会を開き、「高岡の水道料、富山市の2倍だって！」と知って署名運動を取り組み、県、市とも繰り返し交渉し、値下げを実現しました。

住民といっしょに運動

自然の成り行きで改善されたのではなかった
高瀬あつこさんは、
みんなといっしょにがんばってくれる人です

子ども医療費無料の年齢がだんだん上がっていくのは、自然の成り行きだと思っていました。高岡市より先に中学3年生まで無料になっていた射水市がうらやましく、友達も「そこへ引越したいね」と言っていました。

高瀬さんと知り合って、高瀬さんたち新婦人の皆さんが「高岡市でも子ども医療費を中学3年生まで通院も無料に！」と、6千人の署名を集めて高岡市への申し入れたのをきっかけに、中学3年生まで無料になりました。自然の成り行きでなかったのではなかったのです。
高瀬さんをはじめとするたく

さんの先輩お母さん方の努力と行動で年齢が上がっていったこと、何もしなければ何も変わらないことを知りました。

また、高瀬さんは水道料の引き下げにもがんばられたと聞きました。私は水道料金が市町村で違うことも初めて知りました。水道料を下げることは、市民ではどうにもならないと思っていました。市民の思いが形になるなんて、びっくりでした。

大崎恵子

母と子が米軍機墜落事故で犠牲に

高瀬あつこ

平和への思いから、日本共産党へ

「日本史の勉強をしたい」と橘女子大に入学したのは1980年。高瀬さんによると「この大学は女性の自立、自覚的な政治参加を温かく見守ってくれていた」とのこと。そこで茶道部に加わり、うたごえ同好会では地域でうたごえを広げる活動もしました。



赤旗まつりにて = 2014年

子どものころから新聞を読むのが嫌いではなかった高瀬さんは、大学に入る少し前、横浜で米軍ジェット機が墜落し、3歳と1歳の幼児とその母が亡くなった

ニュースを知りました。絵本『パパママ・バイバイ』となった事件です。大学に入って友人同士の会話でアメリカの基地が沖縄や首都東京にまであることを知りました。

一見、平和そうに見える日本に、そうではない現実があることを知った高瀬さんは、10.21国際反戦デーの学習会やデモに参加するようになりました。現実を見つめるだけでなく、社会に働きかけねばとの思いから18歳の10月14日、日本共産党に入りました。

安倍政権が「海外で戦争できる国」に向かって暴走しているいま、そんな高瀬さんだからこそ、安倍政権に不安を感じている皆さんの声を政治に届け、暴走にストップをかけるのに、最もふさわしい人です。

思いやりがあり、物事に一所懸命 あっちゃんならやってくれる

あのおとなしいあっちゃんが選挙に出ると聞いてびっくりしたけど、思いやりがあり、まじめで物事に一所懸命に取り組む姿を思いおこすと納得です。

私が子どものころ、周りから からかわれた

とき、かばってくれたことは今でも忘れません。小学校高学年の道徳の時間に、新聞の切り抜きを持ち寄る授業があった時、あっちゃんは「金大中がホテルから拉致された」事件を報告したのに、驚きでした。

あっちゃんならやってくれる、やって欲しいと思っています。

保育園、小・中学校とずっと一緒だった友人

地場産業を大切に 日本の良さを絶やしてはいけない

高瀬あつこさんの義父は漆芸家で、鏝絵の第一人者です。

伝統工芸の町高岡で、先祖から連綿と続いてきた日本のたいせつなものを絶やしてはいけない、日本の良さを生かしたいと強く願っています。



高瀬さん(左から3人目)が政府に要望 = 1月22日

高瀬あつこさんは昨年10月、藤野やすふみさん(現・衆院議員・北陸信越ブロック)、金平直己市議といっしょに、市内の商店街や建設業の方々、若手工芸職人の皆さんから要望を聞き、懇談しました。1月22日

に上京し、商工業振興の要望を国に届けました。これからも商工業者の切実な願いを、国、県へ届けようと頑張っています。

現実と向き合い、
社会に働きかける

高瀬
あつこの
青春時代